

第127期（2023年3月期） 定時株主総会

2023年6月23日
グンゼ株式会社

第127期定時株主総会

議 事 次 第 （開始時刻：午後 1 時）

報告事項

1. 第127期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の
第127期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

- | | |
|---------|-------------|
| 第 1 号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第 2 号議案 | 取締役 9 名選任の件 |
| 第 3 号議案 | 監査役 2 名選任の件 |

第127期定時株主総会 報告事項



I

事業の経過及びその成果

I -1. 第127期（2022年度） 連結業績

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)
売上高	1,360	1,243	117	9.4	—	—
営業利益	58	48	9	19.1	4.3	3.9
経常利益	60	53	6	11.5	4.4	4.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	45	29	15	53.1	3.3	2.3

第127期定時株主総会 報告事項



Ⅱ

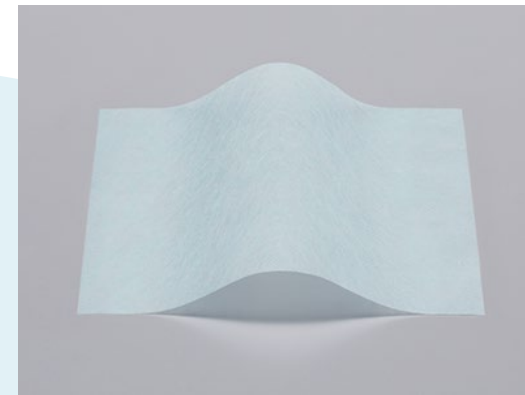
事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. 機能ソリューション事業



売上高	:	603億円	(前期比	7.5%増)
営業利益	:	89億円	(前期比	11.0%増)

■ プラスチック



■ メディカル



■ 電子部品



■ エンジニアリング プラスチック

Ⅱ-2. 機能ソリューション事業 1 (プラスチック)

原材料価格高騰に対して製品価格への転嫁を実施するも、ユーティリティ価格高騰の影響を受ける



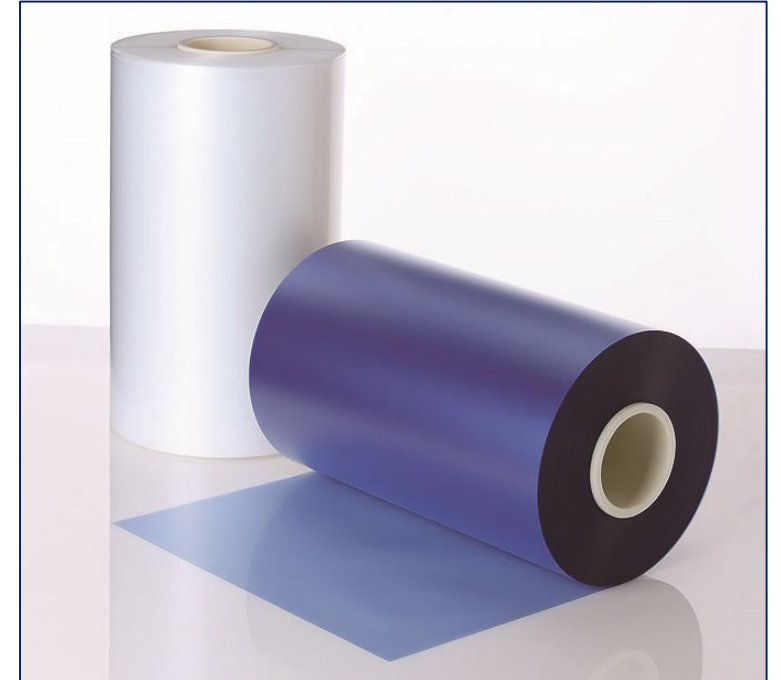
■ 収縮ラベル用フィルム

- 飲料用途がラベルレス等の影響を受け、販売数量は減少
- 新たに環境対応リサイクルハイブリッドフィルムを上市

耐ピンタイプが堅調に推移



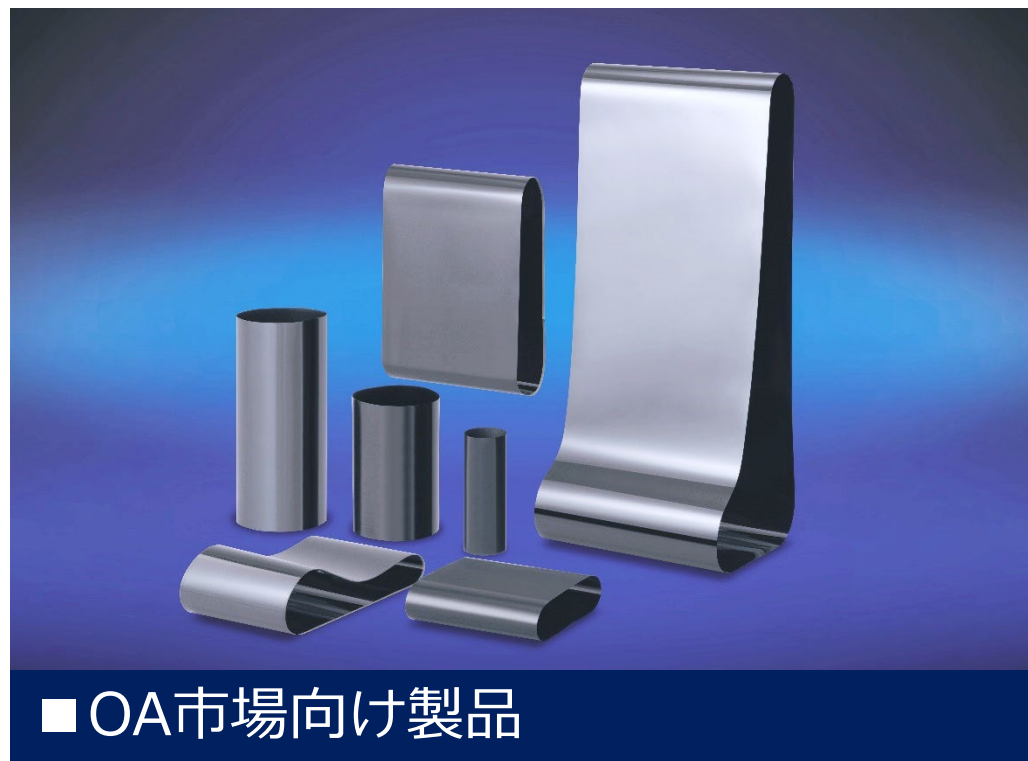
■ 包装用フィルム



■ 工業用フィルム

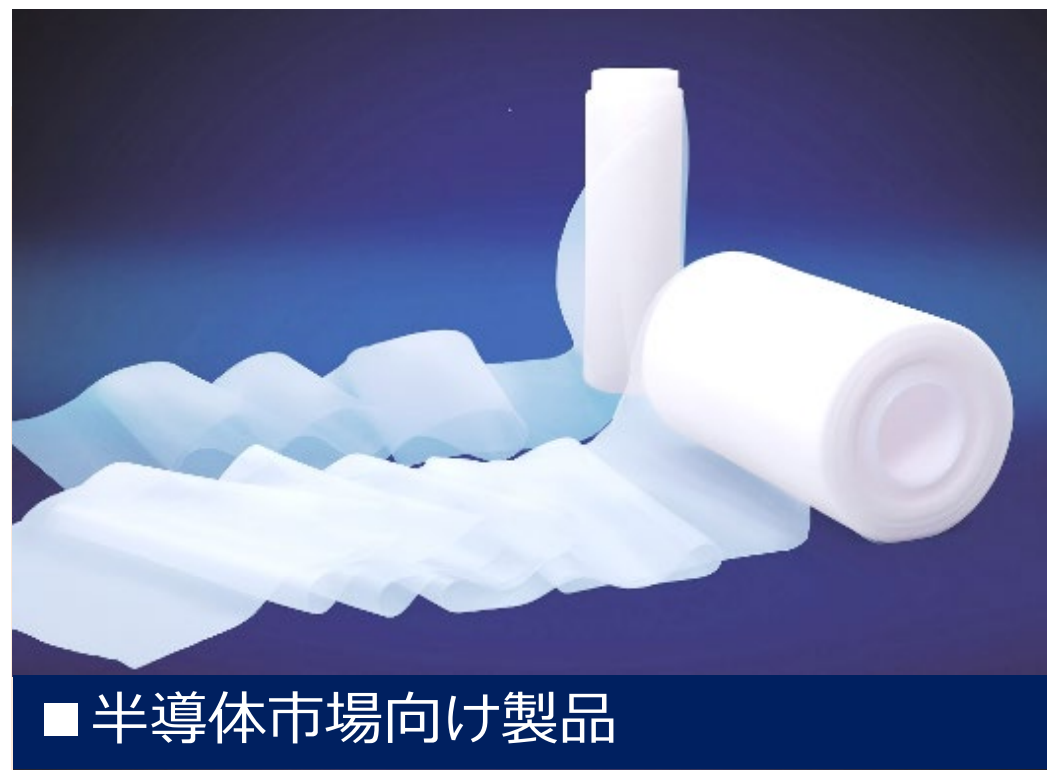
中国市場向けの低迷が続き
スマホの生産・販売台数減による市況悪化の影響を受ける

Ⅱ-3. 機能ソリューション事業 2 (エンジニアリングプラスチック)



経済活動の正常化によりオフィス向けが
堅調に推移しシェア拡大を図る

半導体市場向け、健康医療向け製品の
需要は引き続き好調に推移しさらなる
拡販を目指す



Ⅱ-4. 機能ソリューション事業 3 (電子部品)

- タッチパネル事業が国内の部材調達遅れに加え、中国のPC、スマホ市場悪化の影響を受ける
- 2022年10月にフィルム部門の事業譲渡を実施

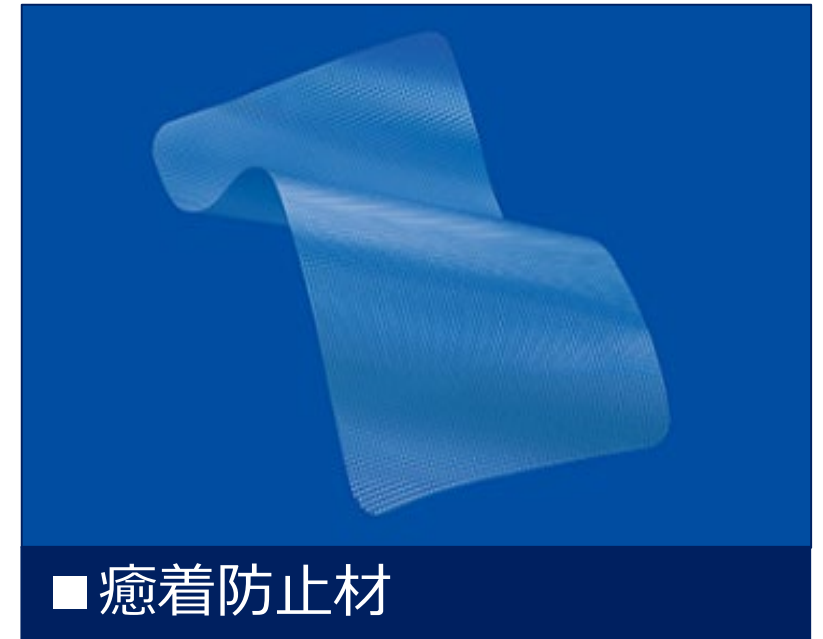
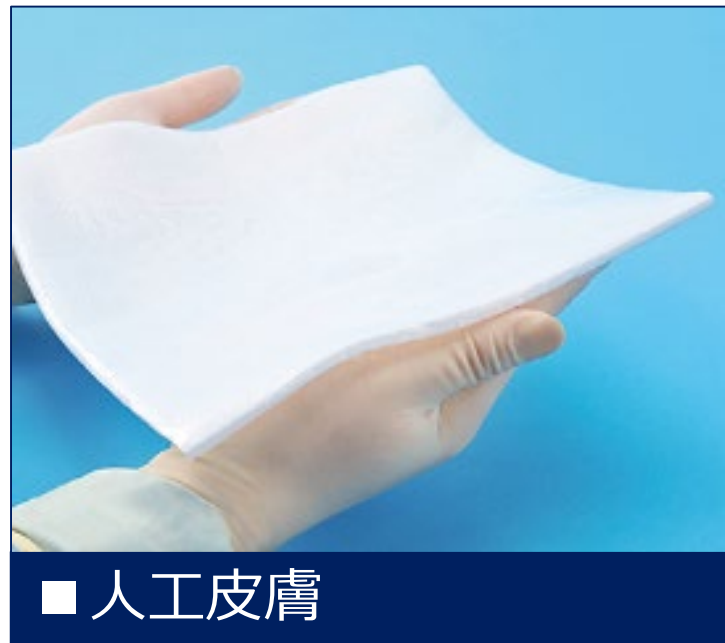


Ⅱ-5. 機能ソリューション事業 4 (メディカル)



新製品販売ならびに
自社製品への切替が進み伸長

形成・創傷(そうしょう)領域
に加え、救急領域での採用
が進み伸長



新製品
屈曲特性や貼り直しなど、
機能性が評価され好調に推移

Ⅱ-6. アパレル事業

売上高 : 609億円 (前期比 6.6%増)
営業損失 : 2億円 (前期 営業損失5億円)

- 社会経済活動の正常化に伴う市況回復やEC、SPAルートが堅調に推移
- 原材料価格高騰と為替変動により利益が圧迫、価格改定を進める



■ オンラインストア
<https://www.gunze.jp/>



■ 三井アウトレットパーク大阪門真店

Ⅱ-7. アパレル事業1 (インナーウェア)



成型ボクサーパンツや接着技術を用いた
差異化ファンデーション群が好調に推移

Ⅱ-8. アパレル事業2 (レッグウェア)



- 市況の回復や健康関連を含むレギンスやボトムカテゴリーの新商品を積極的に展開し増収
- 収益性の改善に向けストッキング生産拠点の再編等による構造改革を推進

Ⅱ-9. ライフクリエイイト事業

売上高 : 153億円 (前期比 32.4%増)
営業利益 : 7億円 (前期比 55.5%増)



■グンゼタウンセンター つかしん



■グンゼスポーツ

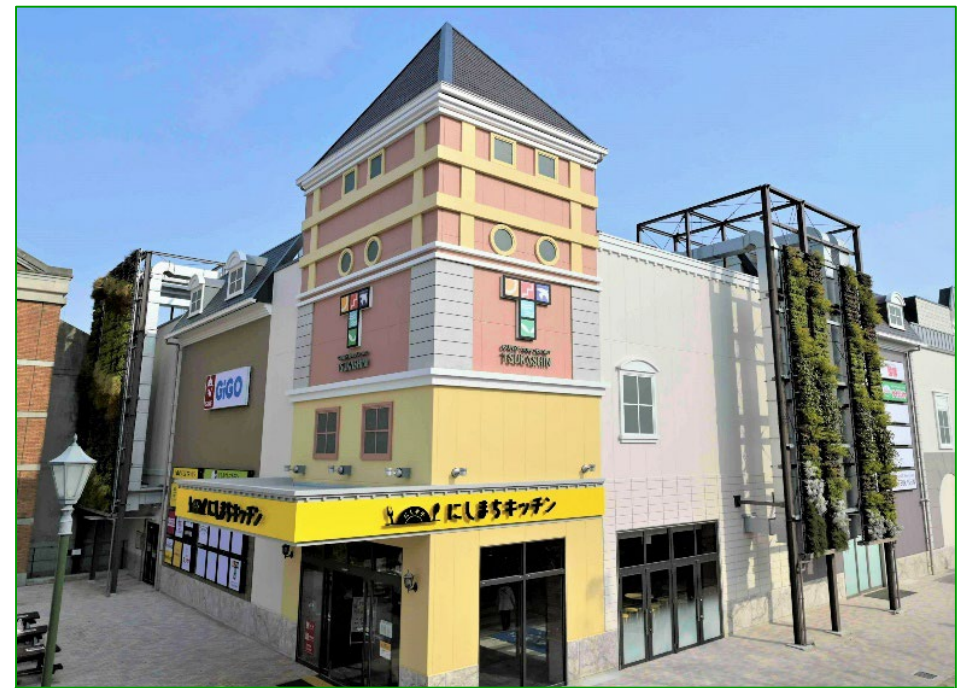
Ⅱ-10. ライフクリエイイト事業 1（不動産関連分野）



■ 長井市 公共複合施設

遊休地再開発プロジェクトの売上計上により増収

- 行動制限の解除やゲンゼタウンセンター「つかしん」リニューアル影響もあり
売上は前年を上回る
- ユーティリティ価格高騰の影響を受ける



■ 「つかしん」 にしまちキッチン

Ⅱ-11. ライフクリエイイト事業 2（スポーツクラブ分野）

- ・ 行動制限の解除により回復傾向にあり、スクール事業の強化や価格改定を実施
- ・ フィットネス事業は感染拡大の影響を残す



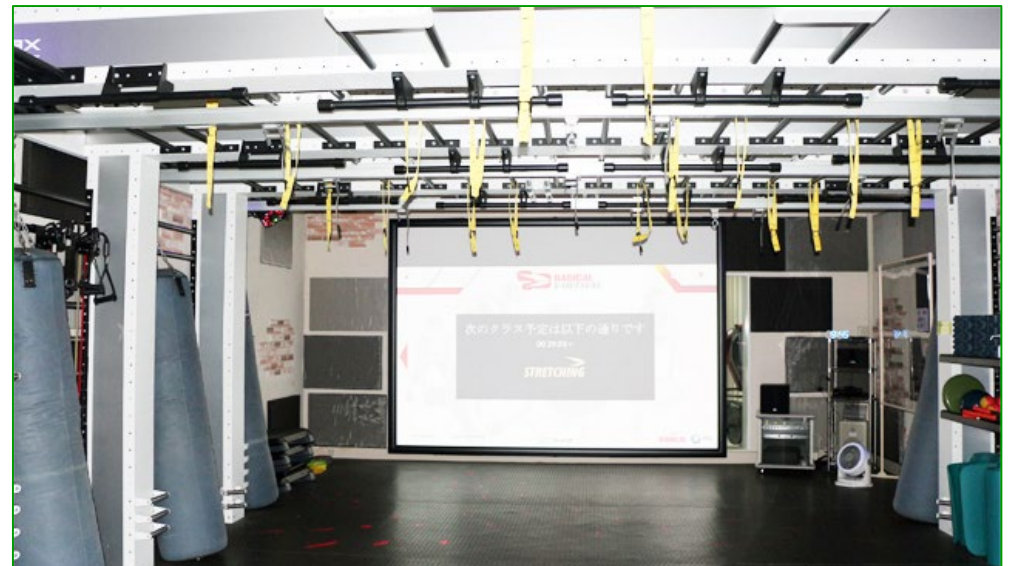
GUNZE
SPORTS

女性専用

\ 女性だけの /
フィットネス&コミュニティスタジオ

ミライゼ

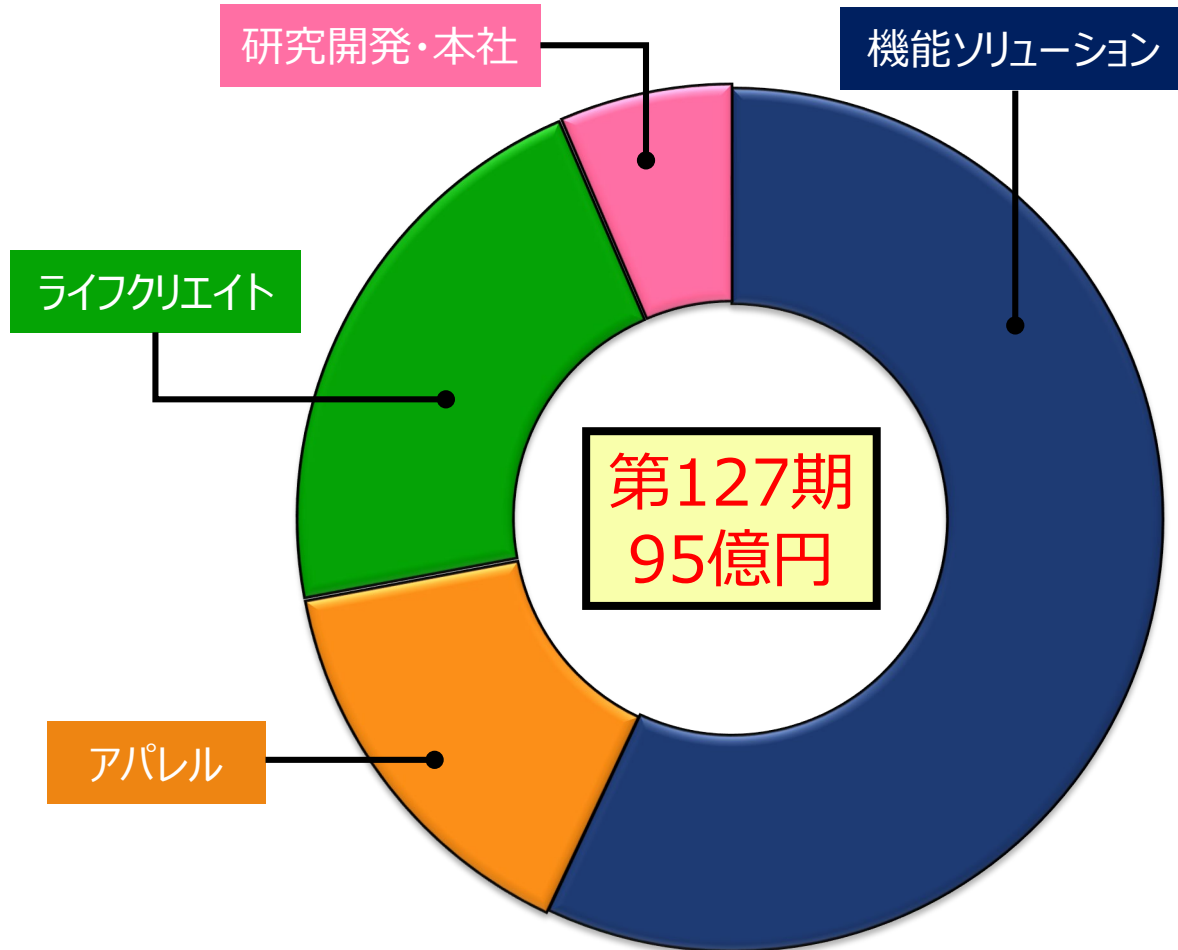
■ 女性専用フィットネス



■ ラディカルバーチャルスタジオ※

※世界のトップクラスのトレーナーによる
レッスンが受けられる映像プログラム

Ⅱ-12. 設備投資の状況



■ 機能ソリューション事業 (53億円)

プラスチックフィルム分野でのサーキュラーファクトリー建設
エンプラ分野での工場事務所棟建設 等

■ アパレル事業 (14億円)

社員寮、実習生寮の整備
インナーウェアの生産設備増強 等

■ ライフクリエイト事業 (20億円)

商業施設の改装 等

■ 研究開発・本社部門 (6億円)

オフィス環境整備 等

第127期定時株主総会 報告事項



Ⅲ

連結計算書類

Ⅲ-1. 連結貸借対照表 1 (資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	増減
資産の部	流動資産	835	791	43
	固定資産	823	790	33
	有形固定資産	631	594	36
	無形固定資産	14	13	1
	投資その他の資産	177	181	△4
資産合計		1,659	1,582	77

流動資産 (前期比)

棚卸資産	46
現金及び預金	△29
未収入金等 (その他の流動資産)	20
受取手形、売掛金及び契約資産	4

有形固定資産 (前期比)

建物及び構築物 (純額)	27
建設仮勘定 (有形)	7

投資その他の資産 (前期比)

繰延税金資産	△12
退職給付に係る資産	11
投資有価証券	△2

Ⅲ-2. 連結貸借対照表 2（負債の部、純資産の部）

（単位：億円 単位未満切捨て）

科目		第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	増減
負債の部	流動負債	300	312	△11
	固定負債	181	122	59
	負債合計	482	434	48
純資産の部	資本金	260	260	—
	資本剰余金	65	65	—
	利益剰余金	789	811	△22
	自己株式	△10	△43	33
	その他の包括利益 累計額合計	51	34	17
	新株予約権・ 非支配株主持分	19	18	0
	純資産合計	1,176	1,147	29
負債及び純資産合計		1,659	1,582	77

負債合計（前期比）

長短借入金	54
未払法人税等	△18
支払手形及び買掛金	10
長期リース債務等(その他固定負債)	△10
未払金等(その他流動負債)	7

純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益	45
配当金の支払(126期)	△24
自己株式の取得	△10
その他有価証券評価差額金の増加	10
為替換算調整勘定の増加	9

Ⅲ-3. 連結損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目	第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	増減
売上高	1,360	1,243	117
売上総利益	404	376	28
販管費	346	327	19
営業利益	58	48	9
営業外損益	2	5	△3
経常利益	60	53	6
特別損益	3	1	2
税引前当期純利益	63	55	8
法人税等	18	25	△6
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する 当期純利益	45	29	15

営業外損益		
127期	受取配当金	4
	操業休止関連費用	△1
126期	助成金収入	4
	受取配当金	3
	操業休止関連費用	△1
特別損益		
127期	投資有価証券売却益	5
	事業構造改善費用	△3
	固定資産除売却損益	2
	新型コロナウイルス感染症による損失	△1
126期	固定資産除売却損益	46
	減損損失	△35
	事業構造改善費用	△5
	新型コロナウイルス感染症による損失	△4

Ⅲ-4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	増減
営業活動	17	91	△73
投資活動	△59	68	△127
フリー キャッシュフロー	△41	159	△200
財務活動	10	△123	133
現金及び 現金同等物 期末残高	115	144	△29

主な営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	63
減価償却費	57
棚卸資産の増加 (△は増加)	△42
法人税等の支払額 (△は支払)	△28
未収入金等その他 (△は増加)	△17

主な投資キャッシュフロー

投資有価証券の売却	44
固定資産の売却	13
事業譲渡による収入	12
固定資産の取得	△102
投資有価証券の取得	△20

主な財務キャッシュフロー

配当金の支払	△24
自己株式の取得	△10
長短借入金の増加	44

Ⅲ-5. 連結主要財務・経営指標

	単位	第127期 (2022年度)	第126期 (2021年度)	増減
ROA：総資産営業利益率	%	3.6	3.1	0.5
ROE：自己資本利益率	%	3.9	2.6	1.3
総資産	億円	1,659	1,582	77
自己資本	億円	1,157	1,129	28
自己資本比率	%	69.8	71.4	△1.6
有利子負債額	億円	154	110	43
BPS：1株当たり純資産	円	6,789	6,535	254

ROA：営業利益 ÷ 総資産

ROE：当期純利益 ÷ 自己資本

第127期定時株主総会 報告事項



IV

中長期的なグループの経営戦略と
対処すべき課題

IV- 1. 中期経営計画「VISION2030 stage 1」ビジョン



新たな価値の創出



資本コスト重視の経営



企業体質の進化



環境に配慮した経営

Stage1			Stage2			Stage3		
2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年

IV-2. 中期経営計画 「VISION2030 stage 1」 ビジョン

VISION
2030

新しい価値を創造し
「こころよさ」を提供することで
持続可能な社会の実現に貢献します

変革と挑戦

「経済的利益」と「社会的利益」を
両立させるサステナブル経営により
社会貢献と当社グループの
持続的成長を実現

SDGs
(国際目標)
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す

IV-3.「VISION2030 stage 1」基本戦略と経営目標(財務目標)

2024年度グループ経営目標

売上高

1,400億円

営業利益

100億円

GVA : Gunze Value Added
(経済的付加価値指標)

黒字化

ROE (自己資本利益率)

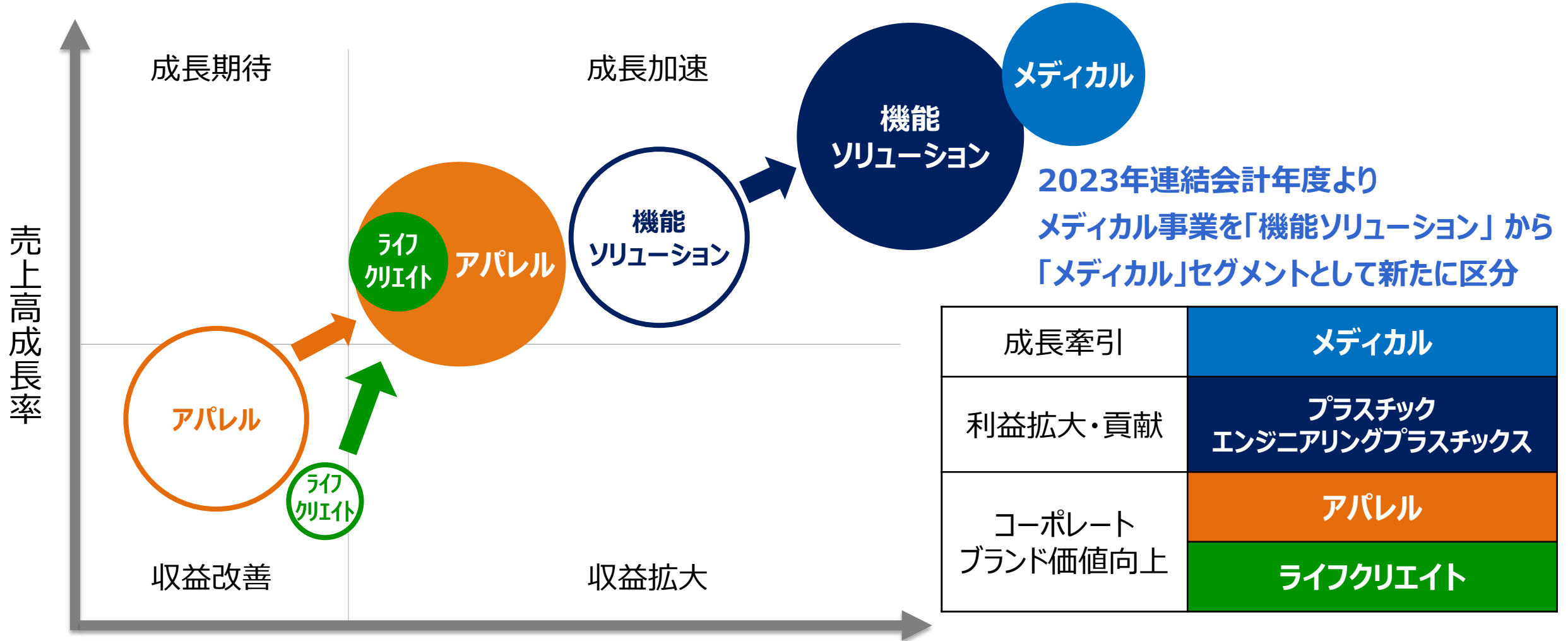
6.32%以上

GVA黒字事業はROIC (投下資本収益率) による目標値を設定し、更なる高みを目指す

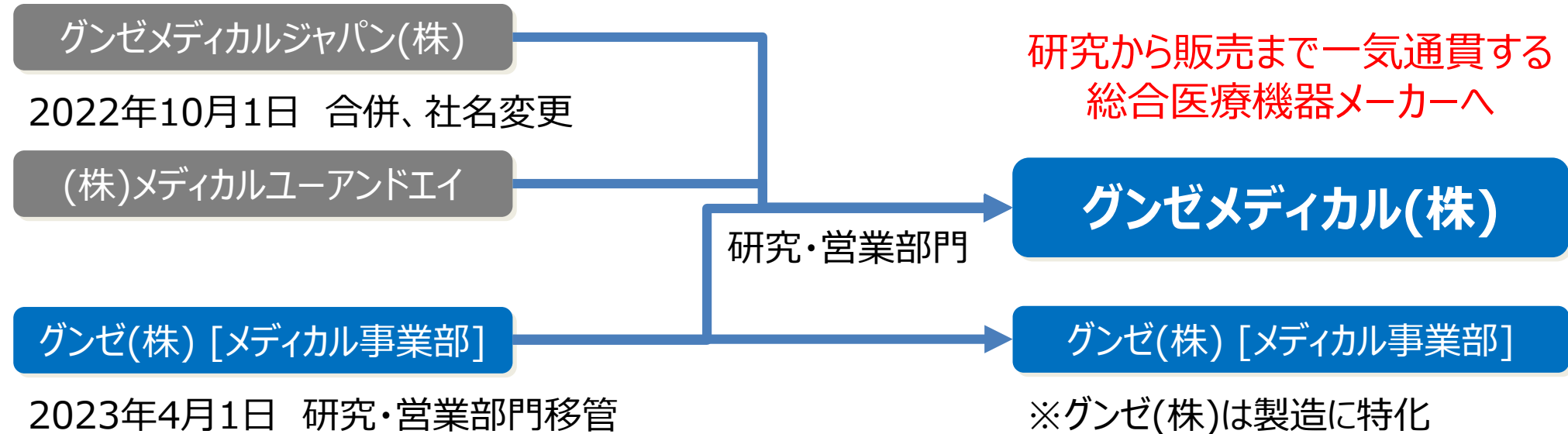
IV-4.「VISION2030 stage 1」経営目標（非財務目標）

区分	目標指標		2024年目標	2030年目標
環境対応	CO2排出量 削減率 （2013年度対比、Scope1 + 2）		28% 以上	35% 以上
	エネルギー原単位 削減率（対前年）		1% / 年 以上	
企業体質 の進化	女性活躍推進	女性管理職比率	6% 以上	20% 以上
		女性社員比率	35%	41%
		女性総合職採用比率	50%	50%
	子育て支援	男性育児休職取得率	50%	70%
	組織風土づくり	エンゲージメントスコア	70点想定	80点想定
	働き方改革	年休取得率	75%	100%
その他	生産性向上率（P 値※） ※ 当社オリジナルの生産性対前年向上指標		103%	103%

IV-5. 事業セグメントの役割と位置づけ



IV-6. メディカル事業の組織再編



生体吸収性製品を中心とした医療機器の提供を通じ、
患者さまの更なるQ O L 向上を目指す

IV-7. 事業セグメント別戦略課題 1 (機能ソリューション)

プラスチック



■ 守山工場サーキュラファクトリー

- 環境対応型新商品の積極投入
- サーキュラファクトリーの本格稼働とリサイクルセンターの設置によるリサイクル技術革新
- 米国、中国およびアセアンを中心とした海外拡販強化

エンジニアリングプラスチック



■ 江南工場『ZEB (※)』認証事務所棟

※実質消費エネルギーを100%以上削減した建物に与えられる認証

- OA向け製品のシェア拡大
- 設備投資を含め健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販

IV-8. 事業セグメント別戦略課題 2 (メディカル)



■ 綾部工場新棟(完成イメージ図)

- 縫合補強材や人工皮膚等の増産体制を整備
- 米国、中国を中心とした海外拡販の強化や継続的新商品開発により事業拡大を加速
- 綾部工場を拡張し新棟建設を予定（2025年3月完成予定）

IV-9. 事業セグメント別戦略課題3 (アパレル販売)

- 総合力による競争力向上を目的とした組織再編
- 消費者行動変化に伴い伸長しているECチャネルや、直営店舗のDtoC (※)ルートでの更なる拡販
- 他社とのコラボレーション推進

※ Direct to Consumer : 中間流通を介さず
自社のECサイトなどを通じて商品を直接消費者に販売すること

ライフスタイル分野の拡大



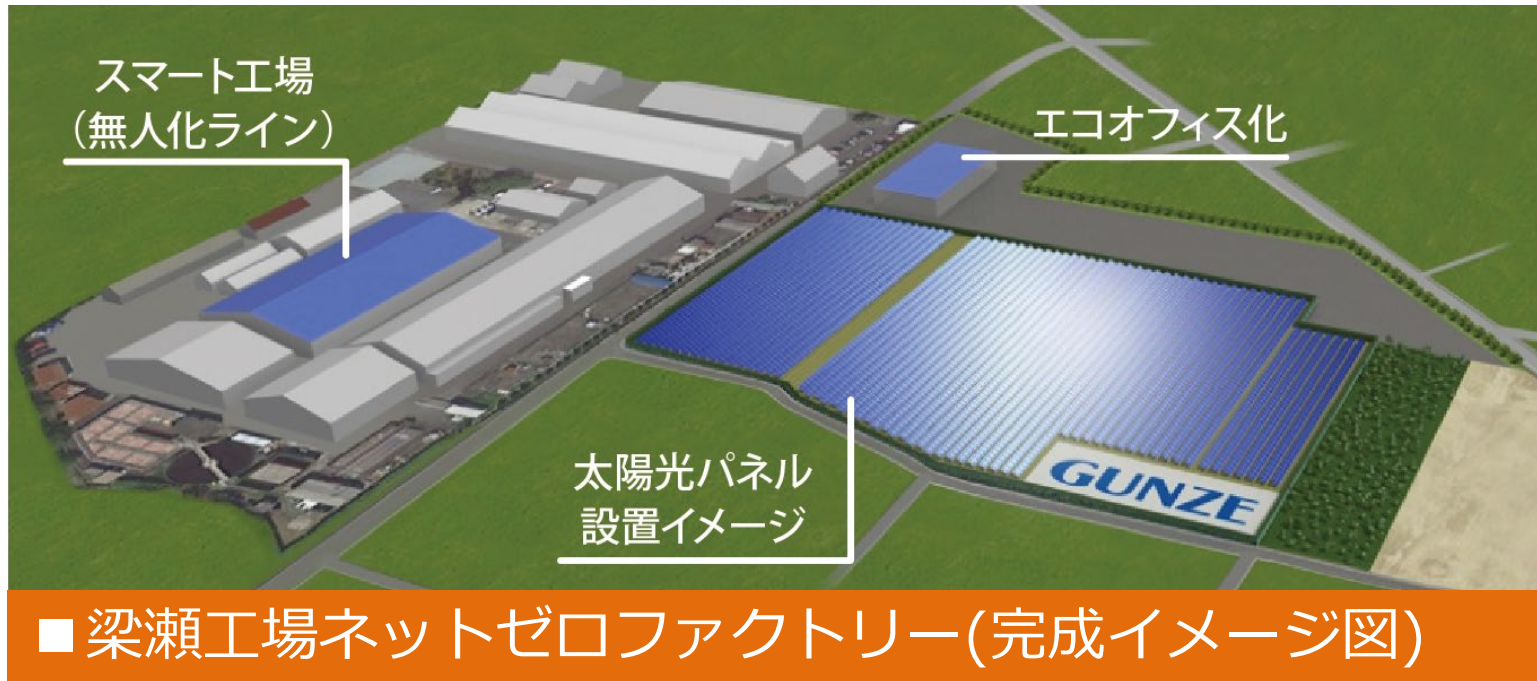
■ ライトテックストレッチ
メッシュパンツ

レディスインナーの拡販



■ ブラジャー、吸水サニタリーショーツ

IV-10. 事業セグメント別戦略課題 3 (アパレル生産)



- オートメーション化とグローバル最適生産体制の構築によるコスト競争力の強化
- 再生可能エネルギーを用いたCO2排出量の実質ゼロ化と無人化ラインからなるネットゼロファクトリー計画の推進

IV-11.事業セグメント別戦略課題 4 (ライフクリエイト)

つかしん



■不動産

- 商業施設の収益力向上の推進
- 投資効率を重視した物件別管理の強化

- 大阪万博等への緑化需要の取り込み
- CO2排出量削減に向けた環境事業への積極的な取り組み

つかしん壁面緑化



■グリーン



キレイをかなえる!

女性専用エリア
リニューアル
オープン!

女性の方にもっと快適に
過ごしていただくために
セルフエステ&女性専用
ジムエリアが新設!



■スポーツ

スクール事業の拡大と地域・店舗特性に合わせた特長のあるサービスの提供と新業態の開発

IV-12. 第128期（2023年度）連結業績予想

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第128期 (2023年度)		第127期 (2022年度)		対前期	
	業績予想	利益率(%)	実績	利益率(%)	増減	増減率(%)
売上高	1,400	—	1,360	—	39	2.9
営業利益	75	5.4	58	4.3	16	29.0
経常利益	75	5.4	60	4.4	14	24.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	48	3.4	45	3.3	2	6.6

第128期（2023年度）配当は、当期より3円増配し、1株当たり150円を予定しております

第127期定時株主総会



決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

＜期末配当に関する事項＞

連結ROEが株主資本コストを上回るまで、総還元性向100%を継続することとし、安定的・継続的な利益還元を実現するため、DOE（株主資本配当率）2.2%以上を目安に配当を実施しております。

この方針のもと、第127期の期末配当につきましては、下記のとおりとさせていただきます。

（1）配当財産の種類

金銭といたします。

（2）株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式 1 株につき 金147円 総額2,505,824,328円

（3）剰余金の配当が効力を生じる日

2023年 6 月26日

第2号議案

取締役9名選任の件

取締役候補者			
候補者番号	候補者氏名	候補者番号	候補者氏名
1	廣地 厚	6	熊田 誠
2	佐口 敏康	7	及川 克彦
3	中井 洋恵	8	河西 亮二
4	鯨岡 修	9	澤田 博和
5	木田 理恵		

(注) 中井 洋恵、鯨岡 修 及び 木田 理恵の3氏は社外取締役の候補者です。

第3号議案

監査役2名選任の件

監査役候補者	
候補者番号	候補者氏名
1	舩富 康次
2	中 紀人

(注) 両氏は社外監査役の候補者です。